

水の恵みに感謝



今年五月、ミス日本「水の天使」に就任しました、西尾菜々美です。新たな時代の令和元年、十代目「水の天使」に就任しましたことを、大変嬉しく思っております。同時に、「水の広報官」としての責務を、しっかりと果たせるようにと身の引き締まる想いです。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願致します。

上水道や下水道、そして水に関わるあらゆる場面での活動と真摯に向き合い、全力で楽しみながら、私の目で「見て」、耳で「聞いて」、肌で「感じて」、沢山のことを吸収し、学んだこと・感じたことを等身大の言葉で発信して参ります！

私が水の天使になって初めて訪れた、水を直に感じた場所は「関東の水がめ」と言われる群馬県みなかみ町にある矢木沢ダムやぎさわの点検放流です。

そこで私が目の当たりにしたのは、まるで水しぶきのアトラクションのように水が勢よく流れ出る様子でした。それは想像以上の迫力で、放流が進むごとに体感温度も下がってきます。自分で「本物」を目にして初めて、「ダムがいかに私たちの生活を支えているか」について興味を持って学びました。大雨の時

※水源林とは、大雨の時に洪水を防ぐ働きをしたり、雨が降らない乾燥期には、水不足を防ぐ働きをする森林のこと。



という言葉を知りました。森林は、雨水の貯水機能や、川やダムに土砂が流れ込むのを防いでいると学び、森林も水循環にとって欠かせない存在なのだと学びました。

「水の天使」になって以来、雨が降った時・水を飲む時・水の音を聞いた時：日々の生活でも、ふとした時に「水」に想いを馳せる瞬間が増えました。これからも、水の恵みに感謝しながら、その大切さを精一杯伝えて参ります！



2019 ミス日本
「水の天使」
にし お な な み
西尾 菜々美



も、逆に雨不足の時にもダムの調整機能と貯めてある水があるお陰で、私たちは不自由なく、安心して暮らせていることを再認識しました。

続いて、『谷川岳たにかわだけ』（群馬県と新潟県の県境にある三国山脈の山）も訪れました。登山をしながら、自然の水に触れたり飲んだりしましたが、それが冷たくて澄んでいて美味しくて…自然の恵みと気持ち良さを全身で感じながら、そこで※「水源林」



ミス日本公式サイトはこちら。水の天使さんなどの活動をご紹介します。
<https://www.missnippon.jp/>